

「徐福伝説」追って延岡へ 海洋冒険家2人が到着 市民と交流も

星乃勇介 2024年7月15日 10時30分



手こぎボートで到着した海洋冒険家2人=2024年7月5日午前10時3分、延岡市の五ヶ瀬川、星乃勇介撮影



不老不死の仙薬を求めて中国から日本に渡ってきたという「徐福」の伝説を追って、手こぎボートで南九州沿岸を旅した海洋冒険家2人が5日、目的地の宮崎県延岡市に到着し、市民の出迎えを受けた。

デンマーク人のクリスチャン・ハブレヘッドさんと中国人の孫海斌(スンハイピン)さん。かんかん照りの中、市内を流れる五ヶ瀬川をシーカヤックでさかのぼり、市役所近くの河原に接岸。待っていた20人ほどの市民らから大きな拍手を受けた。

2人はそのまま、徐福一行が上陸する際に綱を結んだという「徐福岩」のある今山八幡宮へ。ハブレヘッドさんは「伝説をなぞることで、古来の日中韓の交流を実証したかった」、孫さんは「多くの人に徐福のことを知ってもらい、中国から観光客が来るきっかけにしたい」と話した。

主催者側によると、2人は東シナ海を手こぎで渡る計画だったが、悪天候のため断念し、飛行機で来日。鹿児島県いちき串木野市、南さつま市など徐福伝説が残る街を訪問し、市民と交流を重ねてきた。

延岡の観光関係者も徐福伝説を外国人の誘客に生かしたい考え。2人の来日を受け、6日に市内で伝説を巡る国際シンポジウムを開いた。(星乃勇介)

有料会員になると会員限定の有料記事もお読みいただけます。

[今すぐ登録\(1カ月間無料\)](#) [ログインする](#)

※無料期間中に解約した場合、料金はかかりません

この記事を書いた人



星乃 勇介

宮崎総局 | 延岡駐在

+ フォロー

防災・不登校・人口減・公共交通・お産

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.